

## 平成 21 年度 研究開発助成事業 イノベーション創出研究支援事業 発展・橋渡し研究補助金（4件）

	研究開発テーマ名 および 研究概要	研究者氏名【所属 / 役職等】
1	<p><b>線虫検査受託事業創出のための新たな線虫検査システムの開発</b>            北海道では近年、ジャガイモシストセンチュウによるジャガイモ圃場の汚染が深刻な問題となっており、自主的検査による汚染の早期発見と対策が重要な課題である。            本研究では、従来法によるシスト検出に加え、独自開発した分子生物学的なセンチュウ検出・同定法を実用化することにより新たな線虫検査システムの開発を行なう。</p>	谷田 昌穂【株式会社ラボ / R&Dニアアドバイザー】 増田 稔【北海道大学農学研究院】 植原 健人【(独)農研機構北海道農業研究センター】 斎野 智記【道央農業協同組合農業振興部技術普及課】 奈良部 孝【(独)農研機構北海道農業研究センター】
2	<p><b>抗菌効果と抗菌ペプチド産生能を伴ったオーラルケア用品の製品化</b>            オーラルケア用品の需要が高まっているが、製品の中に生体の抗菌ペプチドの産生能を向上するものはみられない。われわれは、道産天然素材の中に抗カンジダ効果を示し、かつ上皮性抗菌ペプチドの発現を上昇させるものを発見した。本研究では、天然素材を配合したオーラルケア用品の製品化に向け、素材処理の最適化を行う。</p>	安彦 善裕【北海道医療大学個体差医療科学センター / 教授】 千葉 逸朗【北海道医療大学歯学部 / 教授】 齊藤 正人【北海道医療大学個体差医療科学センター / 講師】 山岸 和敏【株式会社スリービー】 富山 隆広【株式会社スリービー / 品質管理室長】
3	<p><b>MIF-DNA ワクチンを用いたイヌアトピー性皮膚炎の治療技術の開発</b>            イヌに対し抗 MIF 自己抗体を惹起させる MIF-DNA ワクチンを作製し、実用化に向けたイヌアトピー性皮膚炎治療効果を検証する。ワクチン導入には、<i>in vivo</i> エレクトロポレーションを用い、その導入技術を確立するとともに、イヌアトピー性皮膚炎自然発症モデル作出および抗イヌ MIF 抗体価評価系の確立も併せて行う。</p>	川本 恵子【帯広畜産大学 / 准教授】 小山 芳一【北海道情報大学】 西平 順【北海道情報大学】 小野寺 伸【北海道大学大学院医学研究科】 水江 由佳【株札幌イムノ・ダイアグノスティック・ラボラトリー】
4	<p><b>高出力レーザ光伝送用テープ光ファイバ製品化技術の研究開発</b>            レーザ光をニーズの高い非通信用分野に活用するため、光ビーム口径の変換が可能な高出力レーザ光伝送用光ファイバの製品化技術を確立し、北海道における新産業の創出を図る。</p>	小林 壮一【フォトニックサイエンステクノロジ 株式会社 / 代表取締役社長】 三ツ野 仁【株式会社共立鉄工所】 新関 健士【株式会社共立鉄工所】 三ツ野 豪【株式会社共立鉄工所】 小林 壮一【千歳科学技術大学光科学部光応用システム学科 / 教授】 藤井 雄介【フォトニックサイエンステクノロジ 株式会社】 須田 俊央【フォトニックサイエンステクノロジ 株式会社】 梶川 泰典【フォトニックサイエンステクノロジ 株式会社】 八巻 重則【フォトニックサイエンステクノロジ 株式会社】